

※マタイ 7:3-5

「また、なぜあなたは、兄弟の目の中のちりに目をつけるが、自分の目の中の梁には気がつかないのですか。兄弟に向かって、『あなたの目のちりを取らせてください』などどうして言うのですか。見なさい、自分の目には梁があるではありませんか。偽善者よ。まず自分の目から梁を取りのけなさい。そうすれば、はっきり見えて、兄弟の目からも、ちりを取り除くことができます。」

「他の人が罪を犯したからといって、その罪をやり玉に挙げて、挑発したり、落胆させたりするものではありません。罪に陥った者を回復させる人は、自分の過ちや罪への陥りやすさを覚えているからこそ、謙虚であり続けます。自分自身も誘惑を受け、それに負けるかもしれないと認めているのです。今日、罪を犯した者を回復させたとしても、明日には自分が回復させられる必要があるかもしれません。自分自身の過ちを認識することで、信仰者は勝利主義や傲慢さを避けることができるのです。」(トーマス・シュレイナー)

7. _____ 重荷を負い合うこと(2)

1) _____ は現実の問題として存在する

▶「重荷」

※マタイ 20:12

「…私たちは一日中、労苦と焼けるような暑さを辛抱したのです。」

2) _____ は互いに負い合うことができる

▶「負い合う」

※1 コリント 12:25-26

「それは、からだの中に分裂がなく、各部分が互いにいたわり合うためです。もし一つの部分が苦しめば、すべての部分がともに苦しみ、もし一つの部分が尊ばれば、すべての部分がともに喜ぶのです。」